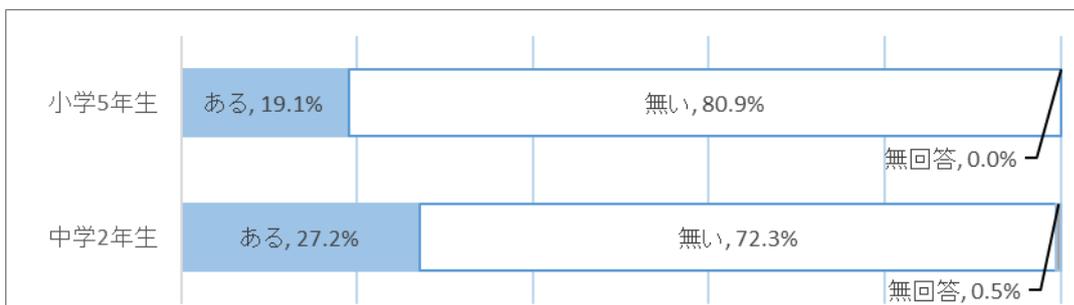


## 「くにたち子ども的人権オンブズマン」についてのアンケートの実施

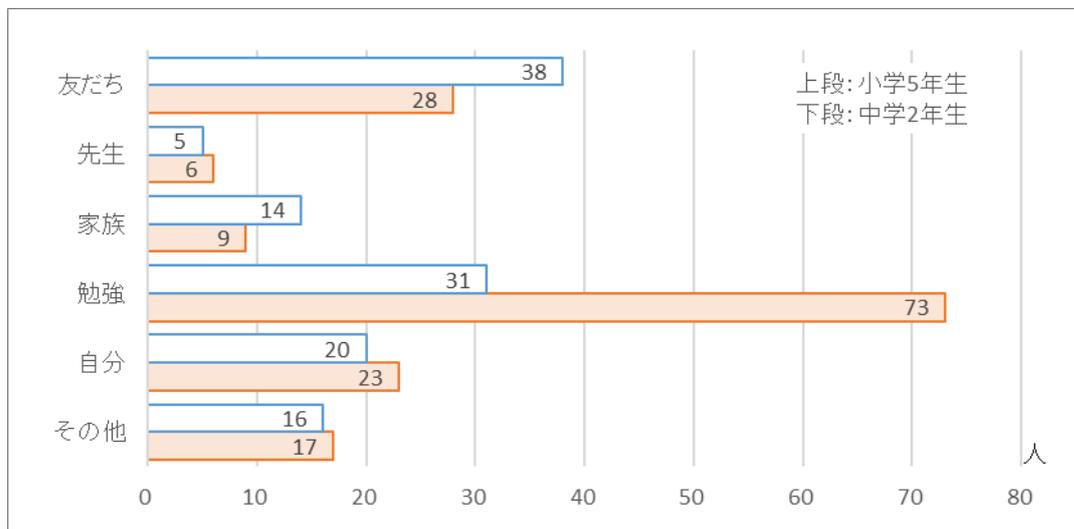
令和6年10月、市立小中学校の小学5年生と中学2年生を対象に、くにたち子ども的人権オンブズマンの周知度と子どもの意見を把握し、今後の活動につなげることを目的として、「子どもオンブズマン」についてのアンケートを実施しました。

制度開始から7年を経て子どもオンブズマンの活動が多くの子どもたちに浸透してきましたが、活動内容をお知らせしながら、より相談しやすい環境作りに取り組んでいきます。

### 質問 1 あなたは、今、悩んだり困ったりしていることはありますか？

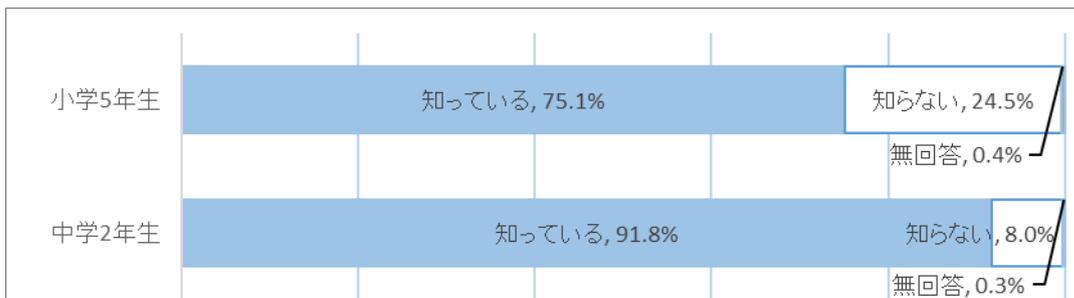


悩みがある人は、何について悩んでいますか。(いくつ選んでもいいです。)



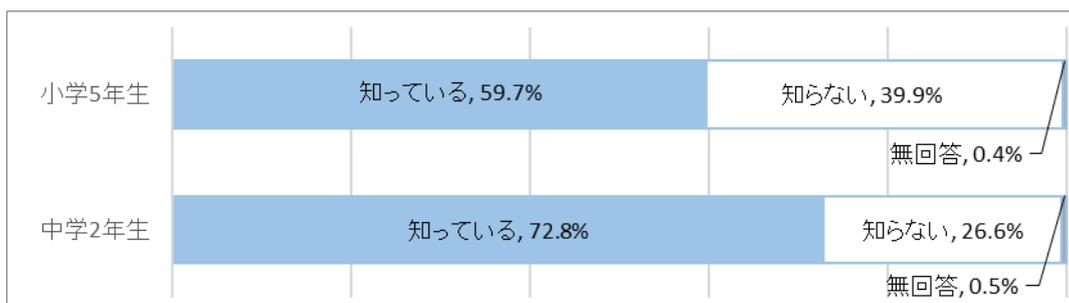
小学生では、「友だち」、中学生では「勉強」が多くなっています。中学生の「勉強」の悩みは、過去5年間通して一番多い悩みになっています。

**質問2** くにたち子どもの人権オンブズマン（子どもオンブズマン）を知っていますか？



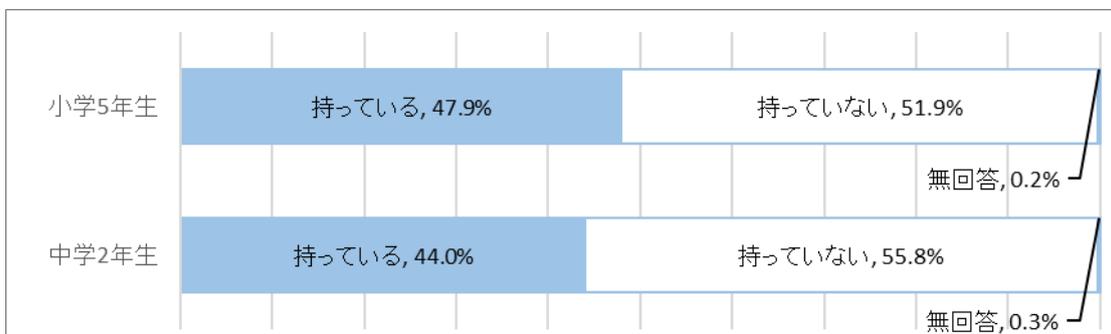
今回アンケートに協力してくれた中学2年生は、オンブズマン制度が開始した年に小学校に入学した子どもたちです。制度開始から7年を経て、ようやく9割を超える子どもたちに知ってもらえることができました。

**質問3** 子どもオンブズマンは、子どもの人権を守るため、あなたの話を聞いて一緒に考え、あなたの意見を先生や家族に伝えたりして、解決に向けて行動していることを知っていますか？



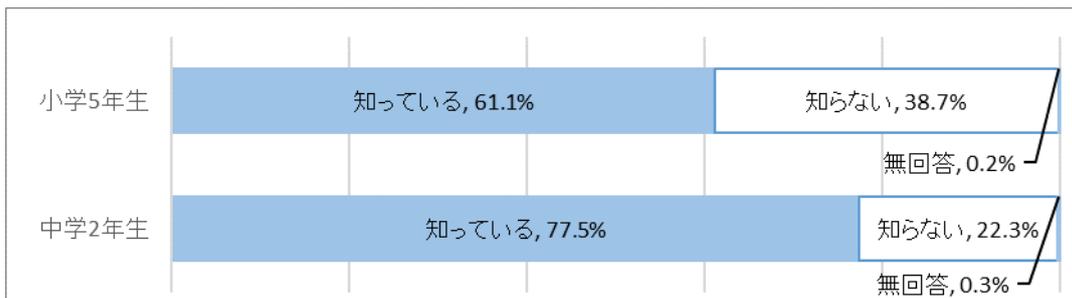
子どもオンブズマンがどのような活動をしているかについては、小学生・中学生共に制度開始時から周知度は横ばいです。

**質問4** 子どもオンブズマンが、みなさんに配っているカードを持っていますか？

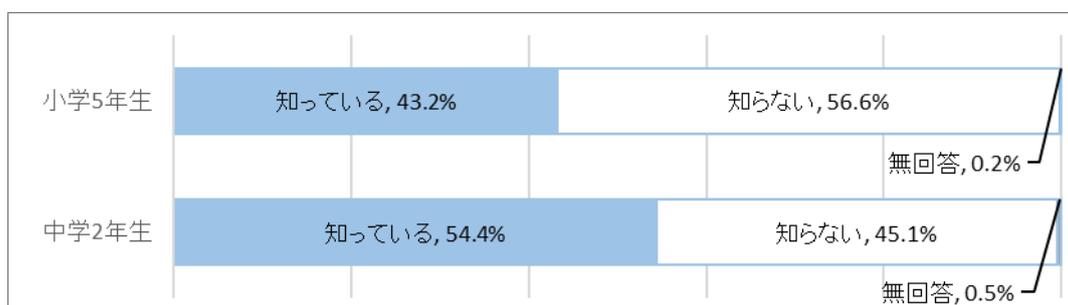


子どもオンブズマンへの相談方法として一番多いのが電話（フリーダイヤル）です。思い立った時にすぐに相談できるように、カードを手元に置いてもらえる工夫が必要です。

**質問5** 子どもオンブズマンは、フリーダイヤル（無料）で相談ができることを知っていますか？

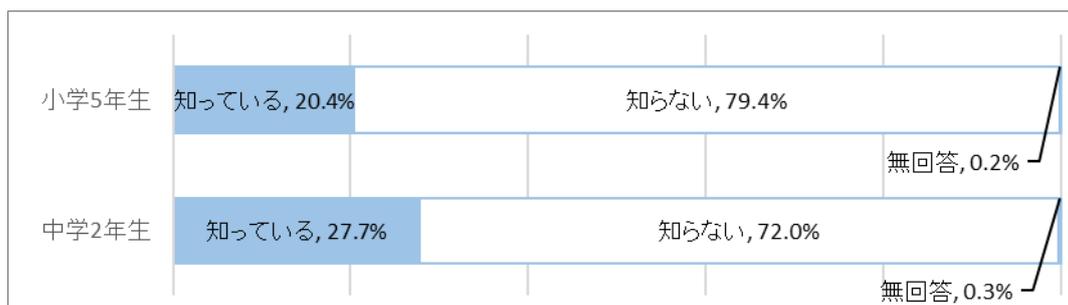


**質問6** 子どもオンブズマンに、手紙で相談できるオンブズマンレター（無料）を知っていますか？

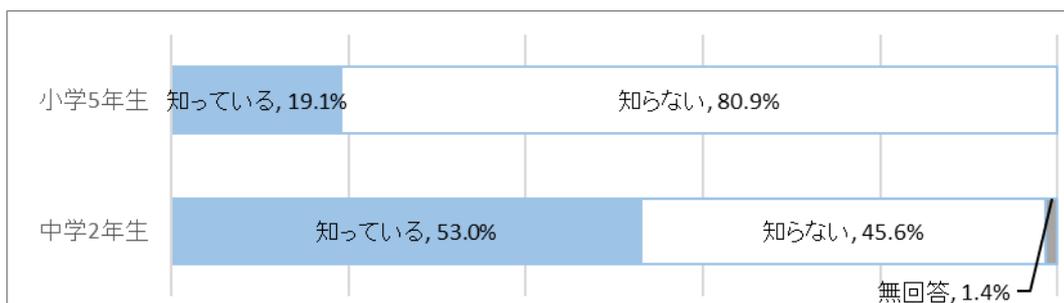


相談方法で電話（フリーダイヤル）に次いで多いのが、オンブズマンレターです。特にオンブズマンレターは小学生に多く利用されています。

**質問7** ① 何でも相談できる出張相談会「みんなの相談」を知っていますか？



② 矢川プラスで「みんなの相談」をしているのを知っていますか？

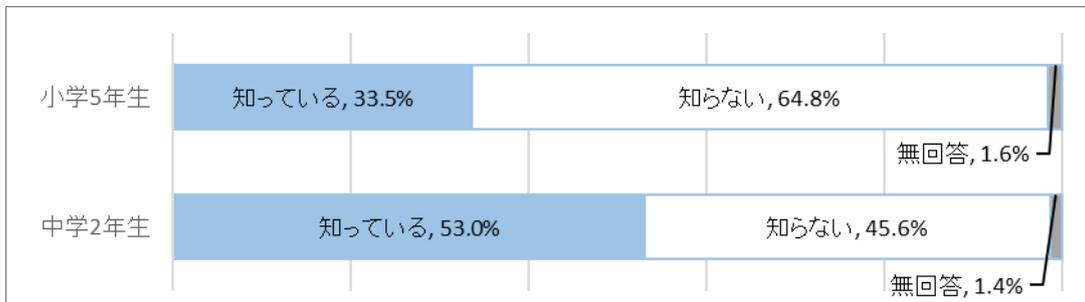


③ 「みんなの相談」はどこで開催したらいいと思いますか？

	小学生	中学生
1位	学校・学童	学校・学童
2位	矢川プラス	児童館・公民館
3位	児童館・公民館	行きやすい・集まりやすい場所

令和5年8月から定期的に矢川プラスで「みんなの相談」を行っています。皆さんからいただいた意見を参考に、今後の開催場所を検討していきます。

**質問8** 『児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）』があって、子どもに「差別のないこと」や「意見をきかれる権利」などが保障されていることを知っていますか？  
※条約とは、国と国とのあいだでとりかわす約束ごとです。



子どもの権利条約は、すべての子どもたちが、今を幸せに生きるために持っている権利と、その権利を守るためにおとながやらなければならないことを定めています。これらの権利が守られるよう、今後もイベント等を通じ周知、啓発していきます。

**質問9** 意見をきいてほしい（ほしかった）と思うことがあれば、書いてください。

小学生	中学生
勉強に時間がかかる	成績について
家族とのけんかが増えた	部活の悩み
自分の意見を言ったら笑われた	一人になれる静かな場所がほしい

…など

**質問10** (1) あなたにとって、自分らしくいられる場所、安心できる場所や大切に思う場所があれば書いてください。

	小学生	中学生
1位	家・自分の部屋	家・自分の部屋
2位	学校・学童	学校・部活
3位	習い事・塾	友だちといる時間

…など

(2) 自分らしくいられる安心できる場所として、こんな居場所があったらいいな、と思いつく場所があれば書いてください。

小学生	中学生
自然がいっぱいの場所	無料の個別スペース
楽しい場所	友だちと気軽に泊まれるところ
落ち着く場所	干渉されない自由な場所
自由なところ	リラックスできるところ

中学生は小学生と比べると、単純に「居場所」というよりは、そこでどう過ごすか、誰と過ごすかを大事に考える傾向にあるようです。

このほか「オンブズマンに伝えたいこと」として自由記述欄を設けました。オンブズマンへの応援やオンブズマン活動への意見なども寄せてくれました。アンケートで、自分のこと、家族のこと、友達のことなどで困っている、悩んでいるというメッセージに対しては、手紙で連絡をとったり、学校に確認したりしました。子どもオンブズマンは、子どもの利益を第一に考え、子どもたちの声を聴いていきます。

## オンブズマンコラム



かたやまひろみち  
片山弘道オンブズマン

アンケートに協力してくれたみなさん、ありがとうございました。

今年は、「意見を聴いてほしい（ほしかった）こと」という項目を設けました。この質問は子どもの「意見を聞かれる権利」の現状について確認するためのものでした。この権利は、昨年末に成立した「国立市子ども基本条例」でも「意見を表明する権利、意見が尊重される権利及び参加する権利」（第8条）として規定されているものです。これは、みなさんに関することは、みなさんの考え方を聞いて、きちんと反映していこうというものです。

みなさんが意見を言いやすい環境を作ること、みなさんの意見をきちんと反映していくこと、そして話をすれば対応してくれると信頼してもらえるようにすることはおとなの責任です（たとえば、今回はみなさんにアクセスしやすい場所を聞いて、「みんなの相談」の開催場所を検討する、といったことです）。意見を言う、言わないはみなさん自身で決めてもらいます。

しかし何か考えていても、それを言わなければ他人には伝わりません。

みなさんが「〇〇だったらいいなあ」、「〇〇したいなあ」ということがあれば、積極的に話してみてください。